

急性期病院における 総合診療部門の可能性

国立病院機構 名古屋医療センター
総合内科
川尻宏昭

正直もう、
聞き飽きた・・・

私も、ネタが尽きた・・・
ということで・・・。

今日の私の振り返りを

朝ミーティング、救急外来、病棟
見学会など
徳島県中の印象を

急性期病院における 総合診療部門の可能性

とは言っても、再び

「可能性」とは？

-
- ①物事が実現できる見込み
 - ②事実がそうである見込み
 - ③潜在的な発展性

急性期病院における 総合診療部門の役割は？

もう一回、考えてみる・・・

そこからの「可能性」を

ちょっと、大胆に簡略化

病院の役割・使命



各診療科（専門）
の
役割・守備範囲



総合診療部門の
役割・守備範囲

「病院の総合診療部門は何ができるか？」

「病院の総合診療部門の役割は何か？」

を考える数式

例えば・・・

病院の役割・使命

各診療科（専門）
の
役割・守備範囲

総合診療部門の
役割・守備範囲

- 例 1) 地方の大規模病院**
- 例 2) 地方の中規模病院**
- 例 3) 有床診療所（都市・地方）**
- 例 4) 都市型大学病院**
- 例 5) 都市型急性期大規模病院**

地方の大規模病院（佐久の例）

- ◆ 病院の役割・使命
= 1次から3次まで、急性期から慢性期まで
⇒ 地域包括医療およびケア（高度救急から
在宅まで）
- ◆ 各診療科の役割・守備範囲
= 各診療科によってactivityに差がある。
マンパワーにも差
- ◆ 総合診療部門の役割・守備範囲 = ?

例えば・・・

病院の役割・使命

各診療科（専門）
の
役割・守備範囲

総合診療部門の
役割・守備範囲

- 例 1) 地方の大規模病院**
- 例 2) 地方の中規模病院**
- 例 3) 有床診療所**
- 例 4) 都市型大学病院**
- 例 5) 都市型急性期病院**

急性期病院における 総合診療部門の可能性？

- ◆ どの現場でも求められる役割がある？

= 総合診療のcore?

- ① 外来診療（振り分け？）
- ② 救急診療（救急部門のある？なし？）
- ③ 一般内科診療（入院・外来）
- ④ 学生・研修医の教育

これを「総合診療部門が担うために」
その部門の医師が身につけることは？

「各診療科から信頼される総合診療医となる
必要性」

総合医のcore competency?

①内科学一般の知識・技術

(臨床推論、総合的判断力)

②プライマリケア分野(家庭医療分野)の
知識・技術

③コミュニケーション能力

④内科救急・プライマリケア救急及び
集中治療

⑤教育・研究に関する能力

◆ すべてそこそこでOK+調整・バランス感覚

病院総合医に求められる臨床能力

- ①内科系急性期病態の管理能力
- ②診断能力
- ③精神疾患領域の患者群への対応
- ④対応の柔軟性とコミュニケーション能力
- ⑤教育能力
- ⑥研究への関心
- ⑦地域医療への関心

鈴木富雄 JIM vol.21 No.8 2011 p630-633

病院総合医ができること

◆ 内科系一般診療

(ER、初診及びPC的外来、ICUまで)

◆ 外科系バックアップ (全身管理、感染症関連)

◆ 研修医・学生への教育

◆ 組織横断的な分野への関与

(感染症、集中治療、栄養、安全管理、地域連携など)

その病院のニーズに合わせて

(病院のニーズ・地域のニーズ)

様々な形があつていい?

徳島県立中央病院の 総合診療部門の可能性は？

数式で考えてみると・・・

問題：徳島県立中央病院では？

病院の役割・使命

各診療科（専門）
の
役割・守備範囲

総合診療部門の
役割・守備範囲

- ①病院の役割・使命？
- ②各診療科（専門）の役割・守備範囲

徳島県中の総合診療部門の可能性は？

急性期総合病院の総合診療部門が 成功するには？

- ①病院の使命・役割を常に確認・自覚
- ②各診療科が「役割・責任」を果たす
- ③①、②で生まれた「にっち（niche）」を
総合診療部門が果たす

「にっち（niche）」=「すきま市場」

「ふさわしい場所：適所」

Find a niche for oneself

働きがいのある職場を探し当てる

「それぞれが役割を果たし、お互いをcareできるか？」
注意

「常に変化する」ことを念頭に！

こんなことできる？

- ◆ 救急とのタイアップで充実した救急医療
(充実した救急体制=専門医療と総合医療が有機的に)
- ◆ 一般診療の質のアップ
- ◆ 初期研修医の教育レベルアップ ⇄ 魅力ある研修病院
- ◆ 医学生の実習受け入れ
(大学とのタイアップ)
- ◆ 徳島県の (日本の?) 総合医の養成拠点
(他の医療機関との連携で・・・)
- ◆ レベルの高い専門医の育成への参画

総合診療は、救急や専門との協働でその存在感を示す

ある専門医の言葉

- ♦ もっとも切実であったのは**教育面**で、研修医のgeneral志向が強くなった点にあったと思います。
- ♦ **専門医の集合体**ではカバーしきれないとかんじていました。
- ♦ 患者さんを総合的に診るには、**各専門医の縦糸**に対し、**それらをつなぐ横糸**が必要…。
- ♦ 内科の初診外来の質は、以前と雲泥の差になっていると思います。かつては専門医がdutyとして他の多忙な業務の合間に片手間に診察し、followができませんから「振り分け係」に徹することをルールに行っており、**患者さんには真に申し訳ない状態**であったと思います。
- ♦ おそらくすべての患者さんを「全人的」に診ていてはやっていけないと私は思いますし、それぞれが得意な分野を受け持つと言うのは合理的な方法ですが、**なかなか人間も人生も合理的にはいかないものです**。合理的に割り切れる部分は専門家が合理的に解決し、簡単に割り切れない部分を総合的にアプローチし、紐解いていく…。

新しい徳島県中に 期待しています

- ◆ 専門医療と総合医療のwin-win！
- ◆ 患者さん・地域の幅広いニーズに

徳島県立中央病院
の役割・使命

各診療科（専門）
の
役割・守備範囲

総合診療部門の
役割・守備範囲

徳島県立中央病院
の役割・使命

各診療科（専門）
の
役割・守備範囲

総合診療部門の
役割・守備範囲

